

2004年11月5日

**2005年北米国際自動車ショーに「スバル B9X」を出展**

富士重工業（竹中 恭二社長）の米国販売会社であるスバル オブ アメリカインク<sup>\*1</sup>は、来年1月に米国デトロイトで開催予定の2005年北米国際自動車ショー（1月9日～11日プレスデー、15日～23日一般公開）に、新型車「スバル B9X（ビー・ナイン・エックス）」を出展することを発表した。

スバルB9Xは、スバル初の7人乗りクロスオーバー車である。スバルのラインナップで最も大きなサイズとなり、スポーティで躍動的な、存在感のあるデザインを特長とする。パワートレインには水平対向エンジンを核とするスバル独自のシンメトリカルAWD（All Wheel Drive）を採用し、優れた走行性能と乗り心地、ラフロードでの走破性能を高い次元で実現している。

なお、同モデルの生産は、富士重工業の米国生産拠点である スバル オブ インディアナ オートモーティブインク<sup>\*2</sup>にて行われ、2005年に北米地区を中心に導入される。

<sup>\*1</sup>石神 邦男社長、ニュージャージー州チェリーヒル

<sup>\*2</sup>及川 博之社長、インディアナ州ラフィエット



スバル B9X